

JEMEA 活動報告



第 15 回 JEMEA シンポジウム (Sympo2021 オンライン開催) 報告

The Report on the 15th JEMEA Symposium @Online

崇城大学工学部ナノサイエンス学科 池永 和敏

〒860-0082 熊本県熊本市西区池田 4-22-1

Department of Nanoscience, Faculty of Engineering,

Sojo University, Kazutoshi Ikenaga

4-22-1 Ikeda, Nishi-ku, Kumamoto, Japan

e-mail: ikenaga@nano.sojo-u.ac.jp

【COVID-19 のパンデミックと日本国内の感染対策】

2019 年 11 月に中国武漢から発症が始まったとされる新型コロナウイルスの COVID-19 の猛威は、感染第 1 波の 2020 年 4 月から約 4 ヶ月のインターバルの 2021 年の 9 月までの第 5 波を数える世界的なパンデミックとなった。COVID-19 のワクチンの製造の遅れから、2021 年 9 月に、やっと日本国内のワクチン 2 回摂取率が 5 割を超えた。その間のリモート出勤・通学の「巣ごもり」、マスクの着用、アルコール消毒などの生真面目な日本人の感染拡大防止策が功を奏して、10 月には日本での感染者は激減した。しかし、11 月末には COVID-19 変異株のオミクロン株の感染者が国内で確認され、本稿の脱稿時には、その猛威（第 6 波）が始まろうとしていた。

【シンポジウムの開催までの経緯】

COVID-19 感染の波の影響を受けて、2020 年の国内外の研究発表集会・講演会・国際会議は Zoom 等を使用したオンライン開催を余儀なくされていた。本 JEMEA においても、シンポジウム(Sympo2020)・総会・研究会は、全てオンライン開催となった。研究活動において重要であるリアルな議論の場が約 2 年間失われた事になった。筆者は、2020 年 5 月には Sympo2021 の実行委員長として、COVID-19 感染の波を予想しながら、筆者の大学での熊本開催を目指していた。三役会議、2 回の理事会での議論を経て、2021 年 1 月までには、開催日程を 2021 年 10 月 13~15 日（初日のショートコースを含む）とする Sympo2021 はコロナ対策が万全である北九州国際会議場で開催されることが決まった。しかし、5 月の第 4 波の影響と第 5 波の予想から、参加者の安心安全を考えての 2 年連続のオンライン開催が 5 月の総会において決定された。その時点から、筆者は実行委員会の立ち上げと具体

的なプログラム作成を始めた。

【シンポジウムの報告と反省】

発表・講演がどこからでも可能であるオンライン開催の最大の特徴を活かすため、また、Sympo2020のオンライン開催とは異なる特長を掲げるために以下の5つの企画を実施した。①ショートコースの復活：新しい潮流（AI・バイオとの接点）を模索②国際ミニシンポジウム：ボストンからオンラインライブ特別講演の Bela Torok 教授（マサチューセッツ大学ボストン校）を核とした和田先生、間瀬先生、椿先生の英語講演（講演者が決まってからの企画）③ポスター「ショートプレゼンテーション」：ポスター発表の活

性化のため、新しい試みとして5分間のショートプレゼンテーションを企画、④パネルディスカッション的な懇親会：オンライン懇親会を盛り上げるための話題提供⑤フレッシュマンランチョンセミナー：マイクロ波ビギナーの悩み相談的なトークセッションの企画

これらの特徴あるプログラムが好評を博したことから、上表にまとめたように参加者数、発表者件数、機器展示・広告企業数は、前回と遜色ない結果であった。なお、唯一のトラブルが1日目B会場のZoomのダウン事故であった。発表者・参加者には、大変ご迷惑をお掛けした。再接続後には座長のサポートで、ダウンしたところから再開発表を行った。その後のプログラムと2日目のプログラムは、全て無事に終了した。

【受賞】受賞者の敬称略、詳細：<https://www.jemea.org/?p=52498>

研究奨励賞では、1A08（杉山ら）の発表が、最も多くの得票数を集め、「炭素繊維の連続合成のわかりやすい発表」など、高い評価を集めた。ベストプレゼンテーション賞では、1A09（佐藤ら）の巧みな発表に対して多くの得票があり、ベストポスター賞では、甲乙が付け難い高得票の発表としてP01（馬場ら）とP09（平田ら）の2件が受賞した。受賞された皆様、誠におめでとうございます。

【謝辞】

Sympo2021において、発表、参加、オンライン機器展示企業及び要旨集への広告出稿企業並びに協賛団体に対しまして、実行委員会一同よりお礼申し上げます。Sympo2022では、コロナが終息してリアル開催できることを、祈念致します。

	Sympo2021 (Sympo2020)
ショートコース 参加者 /人	52(64 ^a)
シンポジウム 参加者 /人	95(120)
特別講演 /件	8 ^b (4)
JEMEA 受賞講演 /件	2(1)
口頭発表 /件	36(42)
ポスター発表 /件	9(10)
機器展示企業数 /社	5(5)
広告企業数 /社	5(6)

a) Sympo2018 のデータ、b) 内4件は、
ショートコース講演者